無料・事前登録制

新しいエンゲージメント潮流とインパクトとの接点

参加費
無料

インパクト志向金融宣言・カンファレンス

本カンファレンスでは、金融機関によるエンゲージメントによって企業の成長・インパクト双方のポテンシャルを引き出し、成長に導くことに成功したケーススタディを通じて、日本のインパクト投資の”伸びしろ”に迫ります。

2025 01.29 WED

12:00-16:30

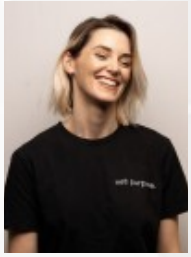
会場

丸の内コンファレンススクエア

千代田区丸の内2丁目4-1 丸ビル 7F・8F

主な登壇者

井藤 英樹
金融庁長官



Samantha Duncan
Net Purpose, CEO

Hari Balkrishna
T. Rowe Price International Ltd.
Portfolio Manager, Global Impact Equity Strategy

（同時通訳有り）

▼お申し込みはコチラから▼

Peatix
ピーティックス

受付締切期限
2025年1月22日(水)

対象

- ○ インパクト金融に関心・課題のある 金融機関の皆さま
  - 未上場企業へのインパクト投資家・VC
  - 上場企業の投資家・金融機関など
- ○ インパクト創出に関心のある経営者、サステナビリティご担当者
- ○ メディア関係者

主催 インパクト志向金融宣言（IDFI）

【協賛】ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社
【後援】金融庁

アジェンダ

時 間	概 要
12:00	イントロダクション 小笠原 由佳 ｜ インパクト志向金融宣言 事務局
12:05	**第一部　投資家のアディショナリティに迫る**　（同時通訳有り） インパクト投資におけるアディショナリティとは、投資先企業とのエンゲージメントや投資そのものを通じて生み出される社会課題解決に貢献するポジティブなインパクトを指します。上場企業へのインパクト投資ではいかにエンゲージメントを通じて企業の製品やサービスがもたらすポジティブなインパクトの増幅を目指していくのか、投資家、企業、インパクト計測のデータベンダーのそれぞれの役割から紐解きます。 矢野 嘉行	中外製薬(株) 上席執行役員 人事、ESG推進統括 サマンサ・ダンカン	ネット・パーパスCEO モデレーター：ハリ・バルクリシュナ	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド グローバル株式インパクト投資戦略 ポートフォリオ・マネジャー
13:05	**第二部　デットにおけるエンゲージメント実践事例** 融資・債券と一言で言っても、対象は大企業から中堅中小企業まで幅広い企業が対象であり、エンゲージメントの在り方も様々です。銀行、証券、アセットオーナー、それぞれの立場の違うパネリストから事例共有を行い、融資・債券分科会の目的であるインパクトファイナンスの高度化と裾野拡大に繋げることを目指します。 朝野 美里 ｜ (株)SBI新生銀行 サステナブルインパクト推進部 サステナブルインパクト評価室室長代理 小 林　巧 ｜ (株)かんぽ生命保険 運用企画部 責任投資推進室 課長 和田 正嗣 ｜ みずほ証券(株) サステナビリティ推進部 サステナビリティ・ストラテジスト ファシリテーター：梶原 敦子 ｜ (株)日本格付研究所 サステナブル・ファイナンス評価本部 本部長
14:00	休憩
14:20	**第三部　上場企業に対するエンゲージメント実践事例** 金融・資本市場の頂点に立つとも言える上場株式市場においてこそ、インパクト創出やサステナビリティ経営の推進が求められている。しかしながら、上場株式のエンゲージメントは必ずしも容易ではない。インパクトとサステナビリティの観点から果敢に取り組む資産運用会社から新しいエンゲージメントの潮流を伺います。 伊井 哲朗 ｜ コモンズ投信(株) 代表取締役社長 池田 賢志 ｜ 金融庁 チーフ・サステイナブルファイナンス・オフィサー 磯貝 友紀 ｜ ジャパン・アクティベーション・キャピタル(株) チーフ・サステナビリティ・オフィサー 大野 美希子	(株)リクルートホールディングス ディレクター ファシリテーター： 安間 匡明 ｜ インパクト志向金融宣言 事務局長
15:15	**第四部　未上場企業に対するエンゲージメント実践事例** 未上場株のインパクト投資において、インパクトVCやPE（GP）がアセットオーナー（LP）にインパクト報告するための規範など、業界の環境整備が進められている中で、投資先（企業）と投資家間による、「目的を持った対話」の果たす役割に注目が集まっている。具体的事例　を紹介するとともに、実務者の観点から、今後の機会及び課題を議論する。 青木 武士 ｜ (株)キャピタルメディカ・ベンチャーズ 代表取締役 大久保 亮 ｜ (株)Rehab for JAPAN　代表取締役CEO 瀬 尾 萌　｜ JPインベストメント㈱　地域・インパクト投資部　ディレクター ファシリテーター：須藤 奈応 ｜ Impact Frontiers ディレクター
16:10	金融庁からの挨拶 井藤 英樹 ｜ 金融庁長官
16:25	クロージング

登壇者

ご挨拶

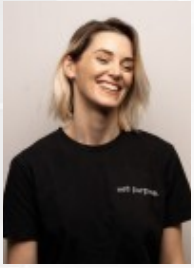
井藤 英樹 | 金融庁長官

1988年大蔵省入省。主計局主査、OECD代表部参事官、広報室長、主計官等を歴任。金融庁では、市場制度の企画、金融機関の監督・モニタリングに加え、大臣秘書官、国会担当課長等に従事。2018年総合政策局審議官（監督局担当）、2019年総合政策局審議官（市場担当）兼公認会計士・監査審査会事務局長、2020年総合政策局政策立案総括審議官、金融庁全体の横断的な政策立案に携わる、2022年企画市場局長、2024年7月より現職。

第１部

矢野 嘉行 | 中外製薬(株) 上席執行役員 人事、ESG推進統括

1986年に中外製薬株式会社入社。営業本部、国際本部、5年の海外駐在を経験したのち、経営企画部マネジャー、調査部長、人事部長を歴任。2019年に執行役員、2020年に人事統轄部門長、2022年に上席執行役員　人事・EHS推進統括、サステイナビリティ推進部担当　兼　人事部長を務め、2024年1月から上席執行役員　人事・ESG推進統括（現職）。



サマンサ・ダンカン | ネット・パーパスCEO

ゴールドマン・サックスの投資銀行部門、リープフロッグ・インベストメントのインパクト責任者を経てネット・パーパスを創業。すべての投資家がインパクト計測を容易にすることをミッションに掲げ、投資先企業およびポートフォリオが創出した社会・環境的アウトカムを示すデータ収集・クリーンアップ、標準化、データ構造に注力している。同社のサービスにより投資家がグローバル標準に準拠した目標に沿った開示が可能となり、資金がよりサステナブルファイナンスに向かうことを目指している。また、GIIN、B Lab, 国連PRI、IFC、IMPにおいてシニア・インパクト・アドバイザーを務めた経験も有する。

ハリ・バルクリシュナ | ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド
グローバル株式インパクト投資戦略 ポートフォリオ・マネジャー

2004年より投資業務に携わっており、2010年にティー・ロウ・プライスの株式調査部門にリサーチ・アナリストとして入社。2010年から2015年までリサーチ・アナリストとして欧州の銀行、自動車、不動産、カナダの銀行セクターを担当。その後、2015年から2020年までグローバル・グロース株式運用戦略のアソシエイトポートフォリオマネージャーを務め、2021年より現職。ティー・ロウ・プライスに入社以前はゴールドマン・サックス（オーストラリア・シドニー）の投資銀行部門にて金融機関を担当。

第２部

朝野 美里 | (株)SBI新生銀行 サステナブルインパクト推進部 サステナブルインパクト評価室室長代理

新生銀行（現SBI新生銀行）　にて、金融法人営業、コーポレートファイナンス、プロジェクトファイナンスに従事したのち、2020年にサステナブルインパクト推進部立ち上げに関与。現在、同部の内室となる評価室にて、赤道原則に沿った環境社会リスクマネジメントのレビューや、サステナブルファイナンス評価を内製化し、インパクトの視点も踏まえたサステナブルファイナンス評価等を実施している。

小林 巧 | (株)かんぽ生命保険 運用企画部 責任投資推進室 課長

地方銀行での勤務を経て、2009年にかんぽ生命に入社し、資産運用部門にて国内外企業に対するクレジット・アナリスト業務に従事。その後、外部出向により、プライベート・エクイティ・ファンドのデューデリジェンス業務と米国企業に対する審査業務を経験。出向から帰任後は、海外企業の調査・分析業務、国内外社債投資のファンドマネジメント業務に従事した後、2022年10月から現職にてサステナブル投資/責任投資推進体制の構築、同方針・計画の策定、インパクト投資の社内体制整備等を推進。

和田 正嗣 | みずほ証券(株) サステナビリティ推進部 サステナビリティ・ストラテジスト

2014年、みずほ銀行入行。その後、みずほ証券投資銀行本部でカバレッジ業務を経験し、2019年より現職にてSDGs債のストラクチャリングに従事。2023年にはGSG Impact JAPAN主催のインパクトIPO WGの委員を務め、『インパクト企業の資本市場における情報開示及び対話のためのガイダンス』の策定に参画。グローバルではICMAのサステナブルファイナンス関連WGやImpact Disclosure Taskforceに参加する他、国内ではインパクト志向金融宣言やインパクトコンソーシアム等の会合に参加し、サステナブルファイナンスに精通。

梶原 敦子 | (株)日本格付研究所 サステナブル・ファイナンス評価本部 本部長

日本格付研究所　常務執行役員兼サステナブル・ファイナンス評価本部長。海外経済協力基金（現国際協力機構）を経て、2000年より日本格付研究所にて中南米・東欧・国際機関等のソブリンアナリストを経験した後、2017年からサステナブル・ファイナンス評価業務に従事。GX推進機構運営委員等を兼任。

登壇者

第３部

伊井 哲朗 I コモンズ投信(株) 代表取締役社長

国内外の大手証券を経験後、2008年コモンズ投信を創業と共に現職。同社は、骨太な長期投資家として特色がありコモンズ30ファンドは、アワード受賞多数。2022年からかんぽ生命向けに上場株式のインパクトファンドを設定・運用。2024年10月には同種ファンドの公募投信「まあるい未来共創ファンド cotocoto」をローンチ。インパクトファンドに対する企業側からの評価も高い。BSテレビ東京でレギュラーコメンテーターを務めるなどメディア出演多数。2023年6月から投資信託協会理事。

池田 賢志 I 金融庁 総合政策課長　チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー（CSFO）

2019年サステナブルファイナンス（SF)の推進企画・立案のため同庁にCSFOのポストが新設され就任。民間金融におけるSDGsとの整合性向上や、事業者及び金融機関によるTCFD/ISSB開示の推進などの課題に取り組むほか、国際的にはFSBトランジションファイナンスワーキンググループの議長やIPSFトランジションファイナンスワークストリームの共同議長を務めるなど、SFに関する職務を幅広く所掌。2024年より総合政策課長（CSFO兼務）としてSFの推進を含む金融庁の諸政策の企画・調整を担当。

磯貝 友紀 I ジャパン・アクティベーション・キャピタル(株) チーフ・サステナビリティ・オフィサー

2003年より、一貫してサステナビリティ・ビジネス、Good　Growthの推進に国内外で関与、「儲かるサステナビリティ」の推進に尽力。民間企業や世界銀行等で、途上国におけるサステナビリティ・ビジネスの推進を経て、2011年PwCのサステナビリティ部門に参画、日本企業CxO向けSX並走支援を多数実施。2024年8月より現職。経産省J-startup推薦委員、金融庁「インパクト投資に関する勉強会」委員等を歴任。

大野 美希子 | (株)リクルートホールディングス ディレクター

2017年より、リクルートホールディングスにてグローバル資本市場とのサステナビリティ観点における対話・開示を牽引。現在、機関投資家及びステークホルダーとのESG/インパクト対話に加え、全社横断のサステナビリティ情報開示プロジェクトをリード。前職では大手通信企業においてInvestor Relations、途上国における国際 M&A・投資先モニタリング、マーケティング等に従事。2025年1月より、国際監査・保証基準審議会（IAASB）ボードメンバー、IDFI宣言アドバイザーに就任。日本証券アナリスト協会検定会員。

安間 匡明 I インパクト志向金融宣言 事務局長

社会変革推進財団にてアドバイザーとしてインパクト投資を推進し、インパクト志向金融宣言を設立、事務局長に就任。現在、インパクトコンソーシアム・アドバイザリー委員長。2017年6月㈱国際協力銀行取締役退任後、大和証券㈱顧問を経て現在PwCサステナビリティ合同会社執行役員常務。一橋大学・福井県立大学の客員教授。

第４部

青木 武士 | (株)キャピタルメディカ・ベンチャーズ 代表取締役

日立造船でバイオマス発電事業等に携わった後、(株)エス・エム・エスにてM&Aやヘルスケアベンチャー投資の責任者として数多くの投資やヘルスケアインキュベーションプログラムの運営を行う。また、訪問看護ステーションの設立・運営など医療・介護現場のオペレーション経験も有する。キャピタルメディカ・ベンチャーズを設立し、代表として運営に携わる。

大久 保亮 | (株)Rehab for JAPAN　代表取締役CEO

リハビリ養成校を卒業後、通所介護事業所や訪問看護ステーションにて在宅リハビリテーションに従事。働きながら法政大学大学院政策学修士を取得。要介護者、介護現場で働く人、地域住民まで、介護に関わるすべての人が安心していきいきと活躍し続けられる世界の実現を目指して2016年6月当社を創業。作業療法士。日本デイサービス協会 理事。

瀬尾 萌 | JPインベストメント㈱　地域・インパクト投資部　ディレクター

ゴールドマン・サックス証券投資銀行部門からビズリーチ（現ビジョナル）に入社しグループ各社の管理本部立ち上げを行う。また、当時子会社ルクサのKDDIによる買収対応とPMIを担当。2018年4月にJPインベストメントに参画し、地域・インパクト投資部ディレクターとしてインパクト投資を推進。

須藤 奈応 | Impact Frontiers ディレクター

2005年より東京証券取引所（現・日本取引所グループ）にて、経営企画、新規事業開発や上場管理に従事。留学中にソーシャルファイナンスの世界に関心を持つ。現在は、アメリカのインパクト投資の業界団体Impact Frontiersにて研修開発や各種環境整備を推進。並行して、日本におけるインパクト投資促進のためにGSG Impact　JAPANなどの活動で30以上の機関投資家とのワーキンググループのファシリテーターを務めている。著書に『インパクト投資入門』（日本経済新聞社）がある。